

免疫学講座

Immunology

教授	村口 篤	Atsushi Muraguchi
准教授	岸 裕幸	Hiroyuki Kishi
助教	小澤 龍彦	Tatsuhiko Ozawa
助教	田尻 和人	Kazuto Tajiri
技術専門職員	廣田 早苗	Sanae Hirota

◆ 著 書

- 1) 田尻和人, 三原弘, 杉山敏郎: プロポリスによる肝障害. 「いわゆる健康食品・サプリメントによる健康被害症例集」日本医師会監修, 64-65, 同文書院, 東京, 2008.
- 2) 田尻和人, 村田浩之, 清水幸裕: 薬物性肝障害の診断; 病態にもとづく新規診断方法の検討. 「薬物性肝障害の実態」恩地森一監修, 60-65, 中外医学社, 東京, 2008.

◆ 原 著

- 1) Shoji M., Kondo T., Honoki H., Nakajima T., Muraguchi A., and Saito M.: Investigation of monitoring for internal exposure by urine bioassay in a biomedical research facility. *Radiat. Prot. Dosimetry*, 127: 456-460, 2007.
- 2) Andoh T., Kishi H., Motoki K., Nakanishi K., Kuraishi Y., and Muraguchi A.: Protective effect of IL-18 on kainate- and IL-1 β -induced cerebellar ataxia in mice. *J. Immunol.*, 180: 2322-2328, 2008.
- 3) Ozawa T., Tajiri K., Kishi H., and Muraguchi A.: Comprehensive analysis of the functional TCR repertoire at the single-cell level. *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 367: 820-825, 2008.
- 4) Tajiri K., and Shimizu Y.: Practical guidelines for diagnosis and early management of drug-induced liver injury. *World J. Gastroenterol.*, 14: 6774-6785, 2008.

◆ 総 説

- 1) 小澤龍彦, 田尻和人, 時光善温, 岸 裕幸, 村口 篤: リンパ球アレイ法. *分子細胞治療*, 7(2): 76-80, 2008.
- 2) 小澤龍彦, 田尻和人, 岸 裕幸, 村口 篤: マイクロウェルアレイチップと細胞解析スキャナー. *メディカル・サイエンス・ダイジェスト*, 34: 9-10, 2008.

◆ 学会報告

- 1) Kishi H., Tokimitsu Y., Tajiri K., Ozawa T., Kondo S., Honda R., Motoki K., Kadowaki S., Kinoshita K., Jin A.-S., Obata T., Fujiki S., and Muraguchi A.: Single Lymphocyte analysis with a microwell array chip. 3rd Measuring Antigen-specific Immune Responses Conference, 2008, 1, 30-2, 3, La Plagne, France.
- 2) Kishi H.: Microwell arrays for detecting single, antigen-specific B-lineage cells. IBC's 19th Annual International Conference Antibody Engineering, 2008, 12, 7-11, San Diego. (Invited lecture)
- 3) 岸 裕幸: リンパ球アレイ法: 新たな抗体医薬開発技術の可能性. 第35回糸球体障害研究会. 2008, 3, 7, 金沢. (招待講演)
- 4) 中山康弘, 峯村正実, 河合健吾, 工藤 浩, 梶浦新也, 田尻和人, 時光善温, 矢田 豊, 安村 敏, 高原照美, 杉山敏郎: 肝臓に対する経皮的ラジオ波焼灼療法の治療支援としての仮想超音波像の有用性. 第44回日本肝臓学会. 2008, 5, 22-23, 大阪.
- 5) 田尻和人, 時光善温, 中山康弘, 岸 裕幸, 峯村正実, 杉山敏郎, 村口 篤: HB ワクチンにより誘導される HBsAg 特異的モノクローナル抗体についての検討. 第44回日本肝臓学会総会, 2008, 6, 5-6, 松山.
- 6) 田尻和人, 村田浩之, 清水幸裕: 薬物性肝障害の診断: 病態にもとづく新規診断方法の検討. 第44回日本肝臓学会総会, 2008, 6, 5-6, 松山.
- 7) 工藤 浩, 矢田 豊, 高原照美, 河合健吾, 田尻和人, 時光善温, 中山康弘, 安村 敏, 峯村正実, 杉山敏郎: NASH の肝細胞アポトーシスにおける ROS と TNF-ASK1 pathway の関与. 第44回日本肝臓学会総会, 2008, 6, 5-6, 松山.
- 8) 時光善温, 峯村正実, 中山康弘, 田尻和人, 工藤 浩, 河合健吾, 安村 敏, 高原照美, 杉山敏郎: PEG-IFN/Rib

併用療法での貧血に対する Adenosine5'-Triphosphate Disodium(ATP)の有効性の検討. 第44回日本肝臓学会総会, 2008, 6, 5-6, 松山.

- 9) 時光善温, 峯村正実, 中本美郁, 河合健吾, 工藤 浩, 田尻和人, 中山康弘, 安村 敏, 高原照美, 杉山敏郎: C型慢性肝炎に対する PEG-IFN α 2b/Ribavirin/ATP 併用療法の有用性. 第44回日本肝臓学会総会, 2008, 6, 5-6, 松山.
- 10) 青木藍子, 中山康弘, 中本美郁, 河合健吾, 工藤 浩, 梶浦新也, 田尻和人, 時光善温, 矢田 豊, 峯村正実, 安村 敏, 高原照美, 杉山敏郎: CT で認められた多発性肝腫瘍が消失した肝硬変の1例. 日本消化器病学会北陸支部第106回支部例会, 2008, 6, 15, 福井.
- 11) 峯村正実, 安村 敏, 田尻和人, 時光善温, 中山康弘, 河合健吾, 工藤 浩, 高原照美, 杉山敏郎: B型慢性肝疾患における抗ウイルス療法施工時の HBV コア関連抗原 (HBcrAg) 測定の意義. JDDW2008, 第12回日本肝臓学会大会, 2008, 10, 1-4, 東京.
- 12) 中山康弘, 峯村正実, 河合健吾, 工藤 浩, 梶浦新也, 田尻和人, 時光善温, 矢田 豊, 安村 敏, 高原照美, 杉山敏郎: 肝癌に対する経皮的ラジオ波焼灼療法の治療支援としての MDCT の当科での活用とその有用性. JDDW2008, 第12回日本肝臓学会大会, 2008, 10, 1-4, 東京.
- 13) 工藤 浩, 河合健吾, 田尻和人, 時光善温, 中山康弘, 安村 敏, 峯村正実, 高原照美, 杉山敏郎: ラミブジン投与中止症例の長期予後の検討, JDDW2008, 第12回日本肝臓学会大会, 2008, 10, 1-4, 東京.
- 14) 中本美郁, 峯村正実, 時光善温, 河合健吾, 工藤 浩, 田尻和人, 中山康弘, 安村 敏, 高原照美, 杉山敏郎: 高齢者C型慢性肝炎における抗ウイルス療法の治療成績とその問題点. 第19回日本老年医学会北陸地方会, 2008, 11, 15, 富山.
- 15) 中田直克, 時光善温, 峯村正実, 中本美郁, 河合健吾, 工藤 浩, 田尻和人, 中山康弘, 安村 敏, 高原照美, 福岡順也, 常山幸一, 杉山敏郎: 高齢男性に急性発症した自己免疫性肝炎の1例. 第107回日本消化器病学会北陸支部例会, 2008, 11, 16, 金沢.
- 16) 工藤 浩, 河合健吾, 矢田 豊, 田尻和人, 杉山敏郎, 高原照美: ALD/NASH と肝類洞壁細胞: NASH の肝細胞アポトーシスにおける ROS と TNF- α の関与. 第22回日本肝類洞壁細胞研究会, 2008, 11, 29-30, 久留米.
- 17) 小澤龍彦, 金 艾順, 田尻和人, 岸 裕幸, 村口 篤: Isolation of human anti-Influenza virus antibodies secreting cells from peripheral blood of Influenza HA-vaccinated healthy volunteer. 第38回日本免疫学会総会・学術集会, 2008, 12, 1-3, 京都.
- 18) 金 艾順, 小澤龍彦, 田尻和人, 岸 裕幸, 村口 篤: リンパ球チップを用いた完全ヒト抗体産生マウス (TC マウス) からのヒト抗 TRAIL-R1 抗体遺伝子取得. 第38回日本免疫学会総会・学術集会, 2008, 12, 1-3, 京都.
- 19) 岸 裕幸, 田尻和人, 小澤龍彦, 金 艾順, 村口 篤: マイクロウェルアレイチップを用いた抗原特異的 T 細胞の検出. 第38回日本免疫学会総会・学術集会, 2008, 12, 1-3, 京都.
- 20) 田尻和人, 小澤龍彦, 金 艾順, 岸 裕幸, 村口 篤: Hepatitis B virus-neutralization activity with a panel of human monoclonal antibodies obtained by cell-microarray system. 第38回日本免疫学会総会・学術集会, 2008, 12, 1-3, 京都.
- 21) 片桐達雄, 谷 昇, 梅川正夫, 村口 篤: Prohibitin (PHB) は RBL-2H3 細胞の脱顆粒シグナルをネガティブに制御する. 第38回日本免疫学会総会・学術集会, 2008, 12, 1-3, 京都.
- 22) 小澤龍彦, 木下耕史, 門脇慎一, 田尻和人, 近藤佐千子, 池本 守, 朴 蓮荀, 森里杏奈, 袋谷賢吉, 岸 裕幸, 村口 篤: MAC-CCD system を用いた細胞内カルシウムの時系列解析とヒトモノクローナルインフルエンザ抗体の単離. 第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会合同大会, 2008, 12, 9-12, 神戸.
- 23) 池本 守, 松井恭子, 宮野義之, 朴 蓮荀, 森里杏奈, 平津圭一郎, 大島美知代, 高木 優, 岸 裕幸, 村口 篤: 植物細胞を利用したヒト B 型肝炎ウイルス抗体の作製及び機能解析. 第31回日本分子生物学会年会・第81回日本生化学会大会合同大会, 2008, 12, 9-12, 神戸.

◆ その他

- 1) 村口 篤, 岸 裕幸: 抗原レセプター組み換え活性化遺伝子 (RAG) の転写調節. 「平成19年度乳酸菌研究会に関する報告書」281-290, 全国乳酸菌研究会, 東京, 2008.
- 2) 岸 裕幸: リンパ球マイクロアレイチップを用いた抗原特異的ヒト単クローン抗体の開発. リエゾンフェスティバル, 2008, 7, 富山.